

1→10drive とオプトが共同プロジェクト「drop: Phygital Marketing Lab」を発足
～IoT/AI/VR などの未来技術を取り入れ、リアルとデジタルが連動するソリューションを提供～



株式会社ワン・トゥー・テン・ホールディングス（本社：京都市、東京オフィス：品川区、代表：澤邊芳明、以下ワントゥーテン）の子会社である、株式会社ワン・トゥー・テン・ドライブ（同、代表：梅田亮、以下1→10drive）は、株式会社オプト（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 CEO：金澤大輔、以下オプト）と、リアルとデジタルが連動するソリューションを提供する「drop: Phygital Marketing Lab（ドロップ：フィジカルマーケティングラボ）」を3月30日に発足いたしました。

※フィジカル（Phygital）＝フィジカルとデジタルを掛け合わせた造語

drop: Phygital Marketing Lab（ドロップ：フィジカルマーケティングラボ）

URL: <http://drop-phygital.com/>

【発足の背景】

デジタルの領域が現実世界に広がっている現在、自動車にAIが搭載され、ゲームがVRになり、家の掃除をロボットがすることは当たり前になってきました。そんな時代の進化は止まることはなく、さらにデジタルとリアルの融合は進み、2020年には大きな市場へと成長すると言われています。しかし、マーケティングソリューション分野においては、いまだリアルとデジタルの間に境界線があるのが実状です。

【drop: Phygital Marketing Lab について】

そこで、1→10drive とオプトは、両社の知見・テクノロジーを掛け合わせ、リアルとデジタルが連動するソリューションを提供する本プロジェクトを発足しました。

IoT/AI/VR といった未来技術を取り入れた、モノやサービスのプロトタイプ開発を得意とする 1→10drive と、デジタルマーケティング分野を得意とするオプトのナレッジを融合。生活者と企業に対して、心も身体も動くマーケティングソリューションを提供します。

【今後の展望について】

今後、具体的には以下のような取り組みに注力してまいります。

- ・ フィジカルを通じたユーザー行動をデータ化し、マーケティングに活用



例) VR で旅行を体験

→ 後日インセンティブが付与されるリターゲティング

例) カタログショッピングを AR で立体化

→ 閲覧行動をもとにレコメンド配信

- ・ リアルビジネスにフィジカルを融合することで、デジタル活用の機会が広がる



例) アトラクション系施設において、来館履歴者に再来訪を促すメッセージの提供

例) 利用者の行動データを分析し、類似ユーザーをターゲティングした集客施策化

- ・ 感情をデータ化し、よりユーザー意向に合わせたデータマーケティングを実現



例) 感情データなどのセンシングによる業務効率の向上を目指すソリューション開発

例) EC 来訪者の感情もトラッキング

→ より「興味があった」商品をレコメンド

【株式会社オプトについて】

設立年月：2015年4月1日

資本金：1億円（2016年12月末現在）

代表者名：代表取締役社長 CEO 金澤 大輔

本社所在地：東京都千代田区四番町 6 番 東急番町ビル

事業内容：e マーケティング事業

URL：<http://www.opt.ne.jp/>

【1→10drive について】

2015年設立。「Brand Prototyping Company」を理念に掲げ、モノやサービスにおけるプロトタイプ開発から商品化までを手掛けている。現状はIoTとAIを事業領域の軸にしつつ、新たなテクノロジーは積極的に取り入れる体制で開発にあたっている。

開発においては、企業と協調し、ブランド価値を根本からつくり込んだプロトタイプを開発し、次世代に残る商品ブランド/サービスブランドとなることを常に目指している。

Web サイト : <http://www.1-10.com/drive/>

[本件に関する問い合わせ先]

フントゥーテン 担当 : 五明 (東京オフィス)

電話 : 03-5781-3600 MAIL : pr@1-10.com